

図1 リハビリテーション診療報酬の変遷（概略）

	種別	1974年	1981年	1992年	2000年	種別	2002年		種別	2006年			
										脳等	運動	呼吸	心大
承認施設 総合	複雑	—	—	580点 40分	660点 40分	Ⅰ 理 作 言	個別	250点 20分	Ⅰ	250点 20分 理 作 言	180点 20分 理 作	180点 20分 理	250点 20分 集 団 理
	簡単	—	—	170点 15分	185点 15分		集団	100点 20分					
承認施設	複雑	80点 40分	300点 40分	480点 40分	530点 40分	Ⅱ 理 作 言	個別	180点 20分	Ⅱ	100点 20分 理 作 言	80点 20分 理 作	80点 20分 理	100点 20分 集 団 理
	簡単	40点 15分	120点 15分	155点 15分	170点 15分		集団	80点 20分					
	複雑	—	—	220点 40分	240点 40分	Ⅲ 理 言	個別	100点 20分	* 2008年の診療報酬改定にて、脳血管等リハ料は3段階化して、脳血管等（Ⅲ）が増設、呼吸リハは作業療法士が実施可能。 * 2014年の診療報酬改定にて心大血管リハは作業療法士が実施可能。				
	簡単	—	—	70点 15分	75点 15分		集団	40点 20分					
承認施設 非	複雑	—	90点 40分	110点 40分	115点 40分	Ⅳ 理	個別	50点 20分					
	簡単	—	55点 15分	65点 15分	65点 15分		集団	35点 20分					
承認施設 言語療法	複雑	—	90点 30分	160点 40分	200点 40分	1974年の診療報酬改定でリハビリが点数化し「複雑・簡単」が導入。1988年に「訪問リハビリ」が導入。1990年に「早期リハビリ」の評価、老人健康保険施設、老人デイケアが導入。2000年に介護保険制度開始。							
	簡単			110点 15分	135点 15分								

図2 2016年診療報酬改定 リハビリテーション料

疾患別リハビリテーション料	リハ料 Ⅰ	リハ料 Ⅱ	リハ料 Ⅲ	標準的 リハ日数
脳血管疾患リハビリ料	245点	200点	100点	180日
運動器リハビリ料	185点	170点	85点	150日
呼吸器リハビリ料	175点	85点		90日
心大血管リハビリ料	205点	125点		150日
廃用症候群リハビリ料（新設）	180点	146点	77点	120日
障害児（者）リハビリ料	6歳未満	6歳以上 18歳未満	18歳以上	
	225点	195点	155点	

代表となる疾患別リハビリテーション料を掲載しているが、この他「がん患者リハビリ料（205点）、初期加算、早期加算、要介護被保険者等の維持期リハビリ患者の減算などがある。また、基本的には20分の個別療法に対する評価となっている。